

群馬県食品安全検査センター 業 務 報 告

N O . 3 2010

群馬県食品安全検査センター
Gunma Prefectural Food Safety Research Center

ま え が き

群馬県食品安全検査センターは、平成 15 年 4 月に県民の食に対する安全性への関心の高まりや検査の充実の期待に応え、検査の信頼性確保を目指して設置されてから 7 年を経過し、食品の総合的な検査機関として機能して参りました。

県内で生産、流通する農産物や食品を生産段階から流通・消費に至る各段階における検査を効率的に行うため、関係する部局を横断的に組織し構成された「食品安全検査センター運営協議会」により策定された計画に基づき検査を行っています。また、健康危機等に係る緊急検査への対応を衛生環境研究所等と連携し実施しています。

近年の流通技術の発達や生活様式の変化などにより食の多様化が進み、豊かな食生活ができる一方、輸入食品の増大による残留農薬、有害物質の混入等による健康被害や違反等の報告、食品の回収が後を絶たないこともあり食品への関心は高く、安心感も揺らいでいます。このような中で新たな基準や試験法への対応、ますます高度化される検査への取組が求められており、検査技術の研鑽や機器の更新、情報収集に努めると共に、経験を次世代に引き継ぐことも課題として取り組んでおります。

検査センターでは、食品取り扱い事業者が実施する自主検査の推進を図るため、これらの検査の受け皿となっている県内民間検査機関を対象に技術研修会、クロスチェック（精度管理）、技術情報交換会等を行っています。また、県民等一般消費者からの依頼に応じ実施している見学研修会等には毎年 1,000 名以上の参加をいただいております。

これらの機会を通じて検査情報や施設を公開することにより、食の安全への理解と安心の提供に繋がたいと考えております。

この業務報告は、主に平成 20 年度と 21 年度の 2 年間に渡る業務実績をまとめたものですが、今後とも県民の期待に応えられるよう技術の向上と業務の効率化に努めて参りたいと考えております。ますますのご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

2010 年 12 月

群馬県食品安全検査センター
所長 阿久澤 孝文

目 次

まえがき

I 機 構

1 沿 革	1
2 組織と業務内容（平成 22 年 4 月 1 日）	2
3 職種別職員数（平成 22 年 4 月 1 日）	2
4 主要備品一覧	3

II 業務概要

1 業務の概要	5
2 各係の業務概要	
（1）検査第一係	8
（2）検査第二係	10
（3）検査第三係	12
（4）検査第四係	14
3 研修・技術情報交換	
（1）見学、研修事業	16
（2）民間検査機関への技術支援事業	16

III 報 告

資料

1 加工食品中のアレルギー特定原材料の検査について	19
永井みゆき、加藤哲史、小澤茂	
2 平成 20～21 年度残留農薬検査結果	21
木暮昭二、加藤哲史、柴田雪乃、関慎太郎、武井文子	
3 輸入加工食品の残留農薬検査について	26
小澤 茂、永井みゆき、木暮昭二、加藤哲史、柴田雪乃、関慎太郎、武井文子	
4 食品中の微生物検査結果	31
茂木道江、山本久美子、永井佳恵子、小池裕子、橋詰真知子	
5 「食に関する意識調査」アンケート結果	34
武井文子、阿久沢孝文、小山孝	

事例

1 東毛地域の給食施設で発生したヒスタミン食中毒について	39
小澤 茂、永井みゆき、関慎太郎、松本和裕	
2 食品添加物の違反事例	43
山本久美子、池田美由紀、茂木芳美、永井佳恵子、山本和弘、田中祐子、福田二三男	
3 食品の苦情事例について	45
山本和弘、山本久美子、福田二三男、田中祐子	
4 健康食品中の医薬品成分検査結果について	48
茂木芳美、山本和弘	

調査研究

1 変色した生めん（中華めん）から検出した好アルカリ性菌及び原因についての一考察 ..	50
小池裕子、茂木道江、永井佳恵子、山本和弘、中嶋恵美、橋詰真知子	

IV 研修・業績発表

1 学会・研究会及び会議への出席	55
2 紙上・学会等での発表	56